
アプリケーション開発

複数画面作成

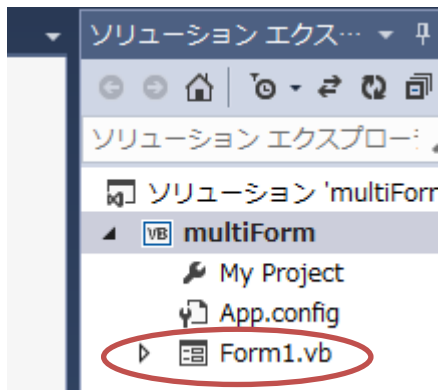
【目次】

複数画面を作成する	3
form を追加する	3
Form1 から Form2 を呼び出す	4
Form1 から Form2 にデータを渡す	5

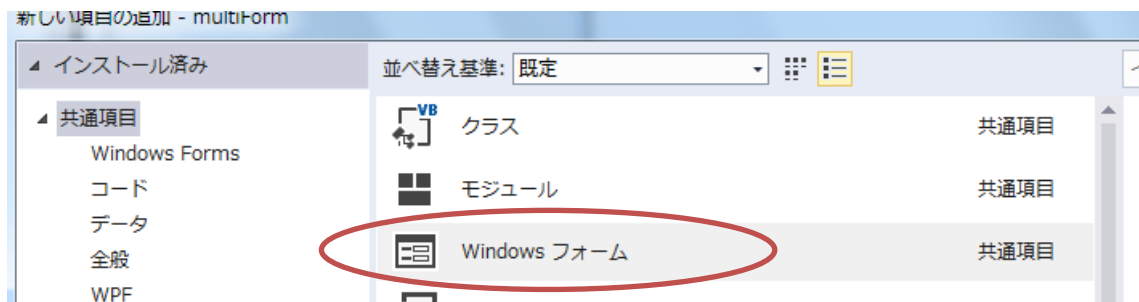
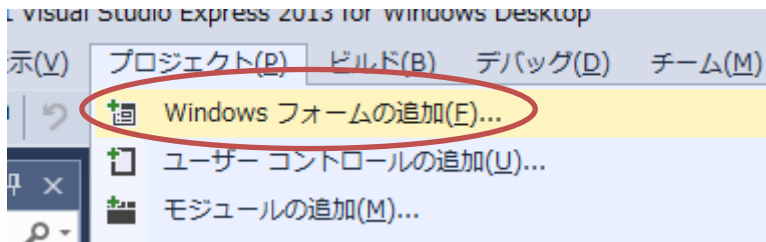
複数画面を作成する

いままでと違って、複数画面でデータを渡す処理をやってみましょう。

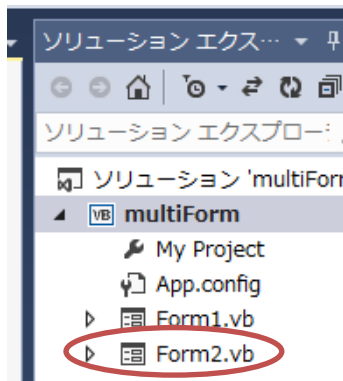
form を追加する



普通にプロジェクトを作成すると、form は1画面です。ここに form を追加します。

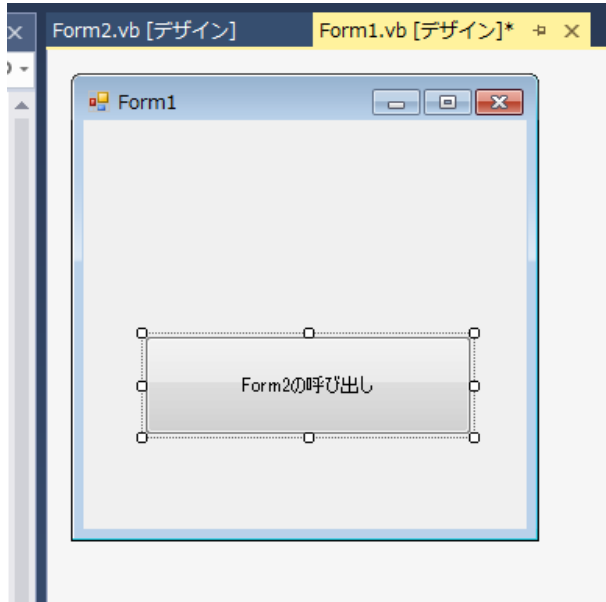


このまま追加すると Form2.vb が追加されます。



Form1 から Form2 を呼び出す

それでは、form1 にボタンを作って、そのボタンを押したら form2 を呼び出すプログラムを作ってみましょう。

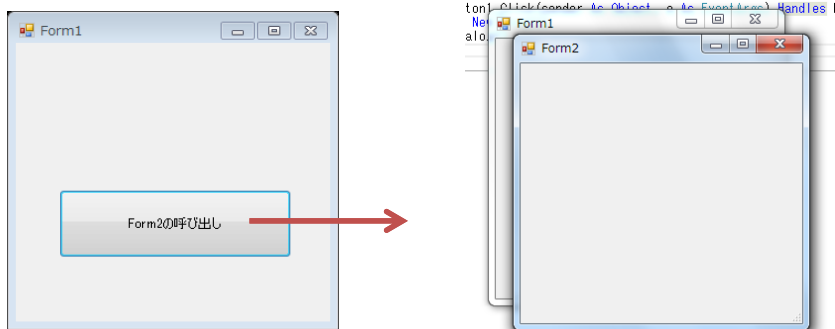


まず、上の画面を作ってみましょう。ボタンを一つ貼り付けます。
このボタンをダブルクリックしてコードを書き込みます。

```
Public Class Form1

    Private Sub Button1_Click(sender As Object, e As EventArgs) Handles Button1.Click
        Dim frm2 As New Form2()
        frm2.ShowDialog()
    End Sub
End Class
```

まず、これで実行してみましょう。

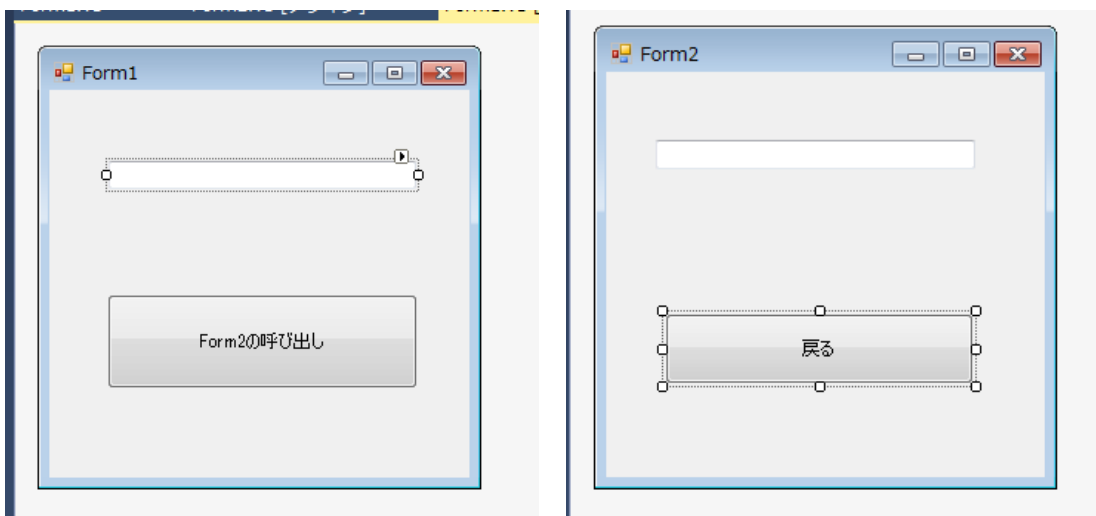


このように、form1 の上に form2 が表示されれば OK です。

Form1 から Form2 にデータを渡す

ただ呼び出すだけならば、これでいいのですが、form1 画面で入力した値を form2 に渡して、それによって処理を変えたい場合は、これではできません。

では、まず form1 にテキストボックスを作って、そこに入れたデータを form2 に渡すようにしてみましょう。



form1 にはテキストボックスを一つ追加。form2 にはテキストボックスと戻りボタンを追加します。

まず、受け取り側の準備をします。

```
Public Class Form2
    Public Property transData As String

    Private Sub Form2_Load(sender As Object, e As EventArgs) Handles MyBase.Load
        TextBox1.Text = transData
    End Sub

    Private Sub Button1_Click(sender As Object, e As EventArgs) Handles Button1.Click
        Me.Close()
    End Sub
End Class
```

これで、form2 にプロパティができるので、form1 からこのプロパティにデータが渡せるよ

うになります。またボタンを押した時に自分の form を閉じると、showdialog()を呼び出した親に制御が戻ります。

```
Public Class Form1

    Private Sub Button1_Click(sender As Object, e As EventArgs) Handles Button1.Click
        Dim frm2 As New Form2()

        frm2.transData = TextBox1.Text
        frm2.ShowDialog()
    End Sub
End Class
```

このように、親から子にデータを渡すことによって、子の方で処理を切り替えることができるようになります。